



## ★今月のTOPICS★ 数字の感覚をすり合わせる

皆様こんにちは、長尾です。最近、経営者ではなく現場の方に自社の試算表を丁寧に解説する活動を行っております。その時に少し工夫をします。損益計算書や貸借対照表をそのまま見せてもイメージはわきにくいですし、そもそも興味がない表って見る側も苦痛になりますので。ですから、可能な限りシンプルに、ビジュアル的に、生々しく意識して図示します。例えば左下のボックスのように損益計算書を図示します。この例では簡易版ですが、原価の中に、原材料や外注費を細かく示したり、販管費の中に人件費や家賃などをさらに細かく図示します。営業でも製造でも現場というのは”何となく”で会社が儲かっていると思ひ込む傾向があります。これは数字のメカニズムを教え込めていない会社の問題でもあります。各人の勉強不足もあるでしょう。特に中間管理職になれば、ある程度、数字に対しての免疫を付けなければなりません。話をボックスに戻します。このボックスでは100の売上に対して利益は10しか残っていません。この10の利益はそのまま会社に残るわけではなく、ここから金利を払い、税金を払います。損益計算書の概念からは少しずれますが、この利益の中から借入金の返済も行っていかななくてはなりません。経営者や幹部はこういったメカニズムを理解させなければなりません。現場は往々にして粗利を見て「利益が出ている」と判断します。会社に残る利益やお金って乾いた雑巾を絞って出た1滴のようなものです。それを経営陣と幹部、現場が同じ目線で捉えることができれば、経費の削減意識や原価意識という話が本当にできるのではと思います。

売上 100	原価50	販管費40
	粗利50	

## ★山陰地方からのレポート★ <松江から小倉へ ー涅槃像を見ながら経営を想うー>

連休を利用して、家内とふたりで九州は小倉方面へクルマで小旅行をしてまいりました。目的は小倉市で一人暮らしをしている長女の下宿部屋の大掃除です。松江から小倉まで、私の運転で約5時間ほどで到着します。さほど長旅とは思いません。運転席からウィンドウガラスをとおして望む中国山地の山々は新緑で萌えていて、ドライバーの私の心は癒されて・・・三文文士的な駄文はここまでにして^^（泣）朝方午前4時に松江を出発したので小倉到着は午前8時半ぐらい。まさにちょうどいいころあいだで長女の下宿につきまします。私たち「おはよう！〇△（長女の名前）^^！」長女「あっ！思ってたより早いやん><。ごめん、部屋散らかって><」私「（・・・）まあ、ええやん><（汗）」妻「（怒）！」

しかし、このまま大掃除のみでせつかくの連休を終わらしてしまうのはもったいないのでいつも私たち家族は一日でやつつけてしまいます。大掃除も終わって、どこに外出しようか？との会話となり、すかさず長女から出たリクエストは、「ショッピングと南蔵院っていうお寺に行きたいねん^^」

私は、ショッピング・勤弁してくれ～><南蔵院・面白そう^^！今年で大学4年生になった長女は、自身が年度末に課される全国共通テストをパスするために「神だのみ」ならぬ、「お地藏さんだのみ」に励んでいるようです。学友さんたちと占いにいかけたときにそのようなお告げを得たとのことでした。なるほど、大変なんやな。南蔵院は、小倉から九州道で博多方面に約1時間、県内の粕屋郡というところに所在する高野山真言宗系の仏寺で、お目当ては巨大の「涅槃像」。今回はこの像に願掛けをしたいのだとか。全長（横）41メートル、高さ11メートル、重さ300トンとのこと。この巨大な涅槃像は、長年にわたりこの南蔵院がミャンマー、ネパールに医薬品やミルク、文房具などを送り続けていたことの返礼として、ミャンマー仏教会よりお釈迦様とその高弟二人の真骨（仏教では仏舎利）の贈呈を受けたため、その安置所として平成7年に建立されたとのこと。さうか、医薬品、ミルク、そして文房具かあ。涅槃像のサイズのあまりの大きさと言い伝えに抱かれながら、私も一応（?!）長女は勉強に励んでいる身ですので何がしかの安心材料になれば・・・と感じました。いや、それほど悲壮感もありませんけどね^^。ここで私は仕事柄でしょうけれども、あることが頭によぎりました。



「経営理念」と「社長室の神棚」の二つです。企業にとってのゴール（目的）とは何なのでしょう？地域売上ナンバーワン。千客万来のダントツ経営。従業員とその家族、地域住民の幸福の追求等々。この時それらのゴールを実現するために組織体制の整備や、予算管理を導入しおのおのPDCAサイクルを回そうとします。経営戦略／戦術の充実を図るのです。ここで「経営理念」とこれらゴールとの関係性を整理すると、私は次のように認識します。・ゴールは「経営理念」を具現化するためのものである。・（と同時に）ゴールは「経営理念」を堅持するためのものでもある。一方で「経営理念」と従業員との連結性を次のように私は認識します。・社長は「経営理念」を通じて、従業員に対してメッセージする。・（同時に）従業員は「経営理念」の遵守をもって自らの幸福度を最大化する。すなわち「経営理念」は重要なスローガンではありますが同時に、特に従業員の「心のよりどころ」になります。（しかしこの「経営理念」。多くの企業さまにおいて、しっかりと文章化しておられないケースも結構あります。）

そして「社長室の神棚」です。「社長室の神棚」は社長室には欠かせないものとして、もはや暗黙の了解事項となっていると思いますが、一方で神棚は社長のための数少ない「心のよりどころ」のひとつなのではないか？と私は確信します。なぜならば、社長は社内で最も孤独な存在だからです。企業における「経営理念」と「社長室の神棚」との関係性を総合整理すると次のようになると思います。私ども長尾経営事務所も企業さまの「心のよりどころ」としていっしょに走り続けてまいります。今月はここまでです。

## ★編集後記★

皆様、GWはどのようにお過ごしになりましたか？私は妻と富山県の黒部峡谷に車で旅行に行ってきました。富山県で特に何か強い印象があったわけではないのですが、行ってみると富山湾、日本アルプス、黒部峡谷と海、山、川の3拍子揃った自然豊かなとてもいい場所でした。一つ残念なのは曇気楼が見えなかったことです。来年、またチャレンジしてみます。